

▽ 上江洲 薫 教授 UEZU, kaoru



所 属： 経済学部 地域環境政策学科
 担当科目：観光経済論、都市経済論、都市環境論、
 社会調査論Ⅰ・Ⅱ、社会調査演習、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、
 地域セミナーⅠ・Ⅱ、演習Ⅰ、演習Ⅱ

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- ①1992年3月：立正大学文学部地理学科Ⅱ部卒業
 1994年3月：年立正大学大学院文学研究科地理学専攻修士課程修了
 1997年3月：立正大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程単位取得退学
- ②博士（地理学）：立正大学
- ③日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、日本観光学会、日本観光研究学会、総合観光学会、立正地理学会、沖縄地理学会など
- ④平成20年～平成26年：沖縄県地域限定通訳案内士試験対策セミナー・沖縄観光コンベンションビューロー主催（講師：「沖縄の地理」担当）
 平成25年度～：沖縄県農地・水・環境保全向上対策第三者委員会（委員）
 平成26年9月～：沖縄県事業認定審議会（委員）
 平成27年6月～：那覇市スポーツ推進審議会（臨時委員）
 平成27年8月～：大宜味村生物多様性センター運営委員会（委員）

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 沖縄の観光	2010年9月～2月	2010年度の後期に、全学科対象の共通科目である「沖縄の観光」では、観光客の受け入れ側である観光地で展開される自然的・社会的・経済的な現象を総合的に検討し、観光地特有の問題・課題や観光地づくりについて概説すると共に、は観光事業者の担当者の講話も予定も行った。2010年度はリゾートウエディングを手がけるワタベウエディング株式会社の方に取り組み内容などを紹介していただき、その後、学生からの質問が積極的に行われた。
2) 都市環境論	2011年4月～8月	2011年度の前期に、地域環境政策学科を主に対象

<p>3) 演習 I</p>	<p>2016 年 4 月～ 2017 年 2 月</p>	<p>として行った本講義では、都市において発生する廃棄物、大気環境、水環境、エネルギー問題などを概説しその対策を説明した。また、野外実習で、那覇市の都市河川の水質等を学生と共に調査し、都市環境のマネジメントを考えた。</p> <p>地域環境政策学科の3年次を対象とした本ゼミでは、観光地や商業地域の活性化に関する発表・討論、9月に2泊3日で石垣島・竹富島で観光と環境に関する調査票調査や聞き取り調査に野外調査を行った。この調査ではグループ毎にテーマを設定し、調査した内容をまとめ、ゼミ生の前で当日の夜に発表を行った。本ゼミは社会調査士の資格科目であることから、調査内容を報告書にまとめる。また、ゼミ生が企業を訪問し、環境保全活動などの聞き取り調査などを行っている。</p>
<p>4) 沖縄経済環境研究所</p>	<p>2011 年 2 月 25 日</p>	<p>地域住民を対象とした西表調査報告講演会において、沖縄経済環境研究所の研究プロジェクト「先島諸島における観光と環境に関する総合調査研究」での調査内容をおよび域外事例を報告した。</p>
<p>5) 公開講座</p>	<p>2010 年 6 月 26 日</p>	<p>沖縄国際大学 2010 年度公開講座・うまんちゅ定例講座において、オーストラリアや沖縄を事例に、「持続可能な観光と環境保全」を題目に公開講座を行った。</p>
<p>6) 大学入門講座</p>	<p>2014 年 11 月 5 日 2016 年 7 月 1 日 2016 年 11 月 8 日</p>	<p>石川高校で「エコツーリズムの楽しみ方と環境保全」のタイトルで講義。 嘉手納高校で「沖縄観光入門 観光産業」で講義。 与勝高校で「沖縄観光入門 観光産業」で講義。</p>
<p>2. 作成した教科書</p> <p>1) 日本の地誌</p> <p>2) レジャーの空間</p>	<p>2007 年 2009 年</p>	<p>同書は地理学科や教職受講者を向けの教科書として作成された。一部を担当した。 同書はレジャーを初めて学ぶ学生を向けの教科書である。一部を担当した。</p>
<p>3. 学生支援活動</p> <p>1) 学習支援</p>	<p>2008 年～</p>	<p>オフィスアワーでの履修指導や学習不審者への支援など</p>

2) キャリア支援	2016 年度	就職支援では、3・4年次に自己分析や履歴書・エントリーシート の書き方、面接練習などをゼミ時間外で実施。インターンシップではゼミ生が参加した旅行社などへの訪問。ゼミ生の韓国留学への助言。
3) サークル・部活動	2012 年 2 月～ 2013 年 4 月～	サークル「コネクション・プロデュース」の顧問。設立当初から顧問を担当し、沖国祭でのごみ減量化の取組みや那覇市での学童ボランティア、修学旅行生への街歩き案内などの活動への提案・助言を行っている。2012 年に第 10 回全国大学生環境活動コンテストにおいて第 3 位。 硬式野球部部長。責任者として、沖縄県内でも予選リーグや九州大会などの大会参加。高校生のスカウト活動。選手達の生活・学業・就活などの助言。新監督の招聘。九州地区大学野球連盟の理事会参加。トンボ等のグラウンド整備道具の作製など。
4. 学外での教育活動		
1) 非常勤教員	1998 年 4 月～ 2008 年 3 月 2013 年 10～2 月	琉球大学において「観光地理学」「地域情報学特論」など地理学系を担当。 名桜大学において「観光地理学」を担当。
2) セミナー講師	2008 年～2014 年 2015 年 10 月 25 日 2016 年 1 月 10 日	沖縄県地域限定通訳案内士試験対策セミナーにおいて、「沖縄の地理」を担当。 大宜味村生物多様性センター設立記念シンポジウム「みんなで考えよう、生物多様性ってなに？」パネルディスカッション（パネリスト） 大宜味村屋古集落において、「屋古集落の地域活性化」（屋古を良くするため・屋古を住みやすくするために）講演。
5. 教育改善活動		
1) MT	2011 年 4 月	1 年次対象のメンバーシップトレーニング（1 泊 2 日）の担当。

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

●論文

- ・上江洲薫(2014)「沖縄県宮古島市における観光・スポーツとカーボン・オフセット — トライアスロン宮古島大会と宮古島マラソン、「まるちくタクシー」のエコツアーを事例に」経済環境研究調査報告書(3)、19-29.
- ・上江洲薫(2012)「石垣市・竹富町における宿泊施設の環境保全対策」、経済環境研究 1-1,1-18.
- ・上江洲薫(2012)「沖縄県石垣市におけるカーボンマイナスツアーと環境保全活動への助成：石垣市商工会と美ら海・美ら山募金推進協議会の取り組みを事例として」経済環境研究調査報告書(2)、1-16
- ・上江洲薫(2011)「久米島町における観光施設の動向と食物アレルギー対策事業」久米島調査報告書(3)
- ・上江洲薫(2011)「離島観光地における一般廃棄物の対策：石垣市・竹富町のごみ処理とし尿処理を事例として」、経済環境研究調査報告書(1),111-128
- ・上江洲薫(2010)「沖縄県金武町・東村におけるエコツーリズムによるコミュニティ・ビジネスの展開と波及構造」、沖縄国際大学経済学部経済論集、第6巻第2号、143-156.
- ・上江洲薫(2009)「沖縄県読谷村・本部町における観光開発の展開とその地域的影響」、沖縄国際大学経済論集、第6巻第1号、9-40.
- ・上江洲薫(2009)「済州特別自治道・珍島郡における観光特性と観光関連施設の分布」、南島文化(沖縄国際大学南島文化研究所)、第31号、119-134.
- ・上江洲薫(2006)「都市計画区域外における観光開発の展開と規制条例の制定 — 沖縄県座間味村・旧玉城村・旧知念村を事例に —」、沖縄地理、第7号、1-23.
- ・上江洲薫(2005)「観光開発に対する土地利用規制条例の制定と地域的インパクト— 沖縄県恩納村を事例として —」、地域研究(立正地理学会)、第46巻第1号、17-37.
- ・上江洲薫(2001)「観光地域における企業の土地所有と観光開発の展開 — 沖縄県恩納村を事例に —」、人文地理、第53巻第5号、57-70.
- ・上江洲薫・徐 皎(1996)「新潟県黒川村における地域振興策としての観光事業」、地域研究(立正地理学会)、第36巻第2号、61-68.
- ・上江洲薫(1996)「わが国における海水浴場の分布と地域性」、立正大学大学院年報、第13号、109-120.
- ・立正大学大学院野外研究グループ(1993)「龍泉洞および周辺地域の水文特性」、地域研究(立正地理学会)、第34巻第1号、23-29.
- ・上江洲薫(1993)「沖縄県恩納村における観光地域形成」、地域研究(立正地理学会)、第33巻第2号、39-47.

●書籍

- ・上江洲薫(2016)「宮古島市における観光の環境化—環境保全とカーボン・オフセットの取り組み」、沖縄国際大学総合研究機構沖縄経済環境研究所、『沖縄宮古の挑戦 エコアイランドによる地域活性化』第2章、25-54.
- ・上江洲薫(2016)「沖縄の環境—環境問題とエコツーリズム」、沖縄国際大学宜野湾の会、『大学的沖縄ガイド—こだわりの歩き方』第1章第3節、41-53
- ・上江洲薫(2013)「地域ブランディングによる離島の観光まちづくり：沖縄県石垣市」、片柳 勉・小松 陽介編著『地域資源とまちづくり』第IV章第4節、159-168
- ・上江洲薫(2012)「駐留軍用地跡地利用の課題と地域対応」(特集 戦中戦後の沖縄住民の戸惑いと復興)、月刊地図中心(476)、16-19
- ・上江洲薫(2011)「持続可能な観光と環境保全—オーストラリアと沖縄を事例に—」、沖縄国際大学公開講座委員会編『沖縄国際大学公開講座20 地域と環境ありんくりん』、編集工房東洋企画.
- ・上江洲薫(2011)「沖縄における外国人観光客の動向と対応」、財団法人九州経済調査協会編『訪日外国人観光の新段階 2011年版 九州経済白書』、財団法人九州経済調査協会.
- ・上江洲薫(2010)「沖縄のコミュニティ・ビジネスと観光振興」、大塚昌利編著『地域の諸相 地

域が人を育て 人が地域を創る』、古今書院.

- ・上江洲薫（2010）「済州特別自治道・珍島郡の観光資源と観光関連産業」、沖縄国際大学南島文化研究所編『韓国・済州島と沖縄』、編集工房東洋企画.
- ・上江洲薫（2009）「沖縄における海水浴場の形成と観光開発」、神田孝治編『レジャーの空間——諸相とアプローチ』、ナカニシヤ出版.
- ・上江洲薫（2007）「南西諸島の諸地域」、立正大学地理学教室編『日本の地誌』、古今書院.
- ・上江洲薫（2004）「観光地域の展開」、井出策夫・澤田裕之編著『地域の視点』、文化書房博文社.
- ・上江洲薫（2003）「沖縄の観光・集客戦略」、財団法人九州経済調査協会編『新しい観光・集客戦略 2003年版 九州経済白書』、財団法人九州経済調査協会.

研究分野

観光地振興、観光地運営、エコツーリズム、観光地理学

【Eメール・ホームページ等】

kuezu@okiu.ac.jp

平成 29 年 4 月 18 日現在